2018年度西日本学生バスケットボール選手権大会

男子	準決勝
試合日	2018.06.09
開始時間	16:00
会場	エディオンアリーナ大阪
コート	M コート
試合NO	98

勝チーム			敗チーム
近畿大学	86	21 - 22 26 - 21 20 - 17 19 - 24	84 関西大学

戦評

【総括】
今大会、盤石な強さで勝ち上がり抜群の身体能力で会場を沸かせ優勝候補筆頭ともいわれる常勝軍団近畿大学。対するはエース不在を持ち前のチーム力でカバーし並み居る強豪校を倒しここまでのし上がってきた関西大学。近年直接対決こそしていないが互いに確実に力をつけてきた両校の注目のカードとなった。前半は近畿大が自慢のインサイド陣でゲームを支配すると思いきや要の選手のファウルトラブルで流れが関西大へ傾く。素早い速攻から繰り出される高精度のアウトサイドシュートで流れを掴む。しかし、近畿大もウィングの両選手がアウトサイドシュートを確実に沈め一進一退の攻防が続く。後半に入り先にアクセルをかけたのは近畿大。再びインサイドへボールを集め着実に流れを手繰り寄せてゆく。関西大は司令塔である#0足立が巧みなアシストで離されまいと近畿大に追いすがってゆく。最終ピリオド残り2分で10点差、逆転は厳しいと誰もが思った時だった。関西大#3竹村のバスケットカウントが再び関西大に息を吹き込んだ。ここから関西大の驚異的な追い上げが始まる。オールコートからプレッシャーをかけ近畿大のミスを誘発し連続得点。残り1分で#28中谷が3Pシュートを沈めついに2点差。完全に射程圏内に捉える。逃げ切りたい近畿大は落ち着いてボールを回し勝利を手繰り寄せたいところだったが残り30秒でまさかのターンオーバー。関西大に千載一遇のチャンスを与えてしまう。しかしこのチャンスをものにできず無念のタイムアップ。最後まで手に汗握る大接戦を制したのは近畿大。近畿大はライバル京都産業大学の待つ決勝へと駒を進めた。

【第1ピリオド】
開始早々、近畿大の能力者達が牙をむく#9濵高、#36榎田、そして#0パトリックが連続ポイントで完全にゲームを支配する。関西大も#0足立、#34梶原の個人技で喰らいついていく。しかし、近畿大は要の#0パトリック、#9濵高が第1ピリオドでまさかの2ファウル。やむなくベンチに下がる。このチャンスを逃すわけにはいかない関西大は#0司令塔の足立を起点に速攻を繰り出し逆転に成功し22－21関西大リードで第1ピリオド終了。

【第2ピリオド】
第2ピリオド最初に流れを掴んだのは関西大。#34梶原が近畿大#0パトリックの支配するインサイドで華麗なアシストを演出、チームを盛り立てる。さらには#0足立の魔法のようなパスが次々と決まり近畿大の守りを翻弄する。ここで流れを渡すわけにはいかない近畿大は#24今村が奮起、インサイドからアウトサイドまで多彩なオフェンスパターンで次々とシュートを沈めていく。さらには#36榎田が連続3Pシュートを決め両者とも一進一退の攻防が続く。チーム力で戦う関西大が個々の長所を上手くかみ合わせ流れを掴みかけたが、近畿大#0パトリックの不調を上級生が補い43－47と辛うじて近畿大のリードで前半を終えた。

【第3ピリオド】
後半は立ち上がりから近畿大#24今村が止まらない。一方関西大#31梶原も負けてはいない。独特のステップワークで近畿大のペイントエリアを支配してゆく。しかしここで徐々に近畿大が抜け出しに出る。関西大のシュートミスを逃さず電光石火のファストブレイク。#36榎田の豪華なダンクシュートも繰り出され少しずつ流れを掴み始める。関西大も#31梶原の巧みなインサイドとアウトサイド陣の高精度のアウトサイドシュートがここでも冴えわたり流れを渡すまいと踏ん張り続ける。最後までお互いに点を取りつづけたがサイズで勝る近畿大がリバウンドを死守し60-67近畿大リードで最終ピリオドへ。

【第4ピリオド】
後半に入り徐々に集中力が増してゆく近畿大#0パトリック。抜群の嗅覚でリバウンドをもぎ取ってく。関西大も#31梶原が負けじとバスケットカウントでチームを鼓舞するが波に乗り切れない。着々と得点を重ねていく近畿大とは対照的にイージーショットを決めきれない関西大。徐々に点数が離れつつあった終盤、関西大#0足立のビハインドパスで#31梶原がトップオブザキーからのシュートで関西大を盛り上げる。しかし、試合巧者の近畿大はここで慌てない。#9濵高が冷静にゲームをコントロールし確実に勝利を手繰り寄せる。諦めない関西大はチームの軸である#0足立、#31梶原が走って再び流れを呼び込む。さらに残り1分で#28中谷が起死回生の3Pシュートで関西大に勝機が蘇る。残り30秒で関西大が決死のスティールに成功。逆転への最後のチャンスを手にする。絶対に失点の許されない近畿大も今日一番のディフェンスで応戦。この手に汗握る戦いで関西大の最後のシュートを任せられたのは#0足立。ノーマークで放った逆転の望みを懸けた3Pシュートは惜しくもリングに収まらなかった。最後の最後まで諦めることなく近畿大に善戦した関西大。勝利の女神こそ微笑むことはなかったが、その素晴らしい戦いぶりには会場全体から温かい拍手が送られた。西日本大会の中でも屈指の素晴らしい内容となったこの試合は84-86で近畿大に軍配。近畿大が決勝戦へと駒を進めた。

主審	御手洗 亮	副審	中川 行臣 / 大倉 哲也		戦評	小松原 朝陽
		記録				

近畿大学

No.	S	選手名	PTS	3P 成功	3P 試投	2P 成功	2P 試投	FT 成功	FT 試投	F	REBOUND OR	REBOUND DR	REBOUND TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
0	*	カロンジ パトリック	30	0	0	15	19	0	0	4	7	9	16	2	0	1	2	34
8		五十嵐 正也	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7
9	*	濱高 康明	9	0	1	4	8	1	1	2	1	3	4	1	2	0	0	38
11		田上 元己	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2	0	0	10
24	*	今村 拓夢	23	2	3	7	13	3	4	2	5	3	8	3	2	0	0	37
30		坂口 颯馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
33	*	濱田 貫流馬	7	1	4	2	7	0	0	3	2	3	5	5	5	1	0	37
36	*	榎田 拓真	14	2	6	4	8	0	0	1	1	4	5	1	0	0	0	35
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:		禿 正信								0	1	1	2	0				
合計			86	5	14	33	57	5	7	13	16	22	38	12	11	2	2	200
			RATE	35.7%		57.9%		71.4%										

関西大学

No.	S	選手名	PTS	3P 成功	3P 試投	2P 成功	2P 試投	FT 成功	FT 試投	F	REBOUND OR	REBOUND DR	REBOUND TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
0	*	足立 臣哉	15	2	3	3	5	3	4	2	0	3	3	2	8	0	0	38
3		竹村 峻	6	0	0	3	4	0	1	0	0	2	2	0	1	0	0	20
6		秋岡 和典	10	2	4	2	8	0	0	2	1	3	4	0	0	0	0	17
7	*	河野 拓海	12	0	0	5	10	2	3	1	3	1	4	2	2	2	2	32
17		菅原 紳太郎	2	0	0	1	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	7
28	*	中谷 颯吾	5	1	5	1	3	0	0	2	0	2	2	0	2	1	0	30
31	*	梶原 聖大	32	0	0	14	21	4	5	1	2	3	5	0	1	5	1	40
33	*	関野 日久	2	0	0	1	4	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	16
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:		尾﨑 勇太	-							0	2	2	4	0				
合計			84	5	12	30	57	9	13	8	8	14	22	4	14	9	3	200
			RATE	41.7%		52.6%		69.2%										